

Oracle 入門 ～研修受講前テスト 解答～

■問題1【データベース概要】

データベースの利点について誤っているものを1つ選んで下さい。

- 同一データを複数のユーザーで共有できる。
- データの物理的な格納場所を意識できる。
- データの名前指定でアクセスできる。
- データ変更による矛盾の発生を防止できる。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 1-1 ～ 1-6

■問題2【データベース概要】

リレーショナル・データベースとデータベース管理システムの特徴について正しいものを2つ選んで下さい。

- データを網の目状につないで整理・管理をする。
- データベースを操作するための言語を提供する。
- 障害から復旧するための機能を備えている。
- アプリケーションの管理を行う。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 1-6

■問題3【SQL 概要】

SQLの特徴として誤っているものを1つ選んでください。

- データベースに対して、全ての操作が可能である。
- Oracle 独自の言語である。
- 表や列の名前を指定するだけで簡単にデータにアクセスできる。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 2-1

■問題4【Oracleの基本機能】

データベース・ユーザーと権限について正しいものを1つ選んでください。

- SYS、SYSTEMユーザーは通常のデータにアクセスするためのユーザーである。
- 一般ユーザーは、データベースを作成した時に自動的に生成される。
- データベース・ユーザーは、付与されている権限でデータベースに対して行える操作が決まる。
- 1つのユーザーは、複数の人で利用することはできない。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 3-3 ~ 3-8

■問題5【Oracleの基本機能】

同時実行制御について誤っているものを1つ選んで下さい。

- ユーザーが表をSELECTしている間、暗黙的にその表はロックされる。
- ロックしているユーザーがROLLBACKを実行することでロックを解放できる。
- ユーザーは、ロックされていない行にはデータの変更処理を行える。
- ロックの単位は行レベルである。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 3-9 ~ 3-10

■問題6【Oracleの基本機能】

整合性制約の説明として正しいものを1つ選んでください。

- 表の列に対してユーザー任意の制約を設定することはできない。
- 制約の設定変更や状態変更をSQLで行うことはできない。
- 特定の列に対してデータの欠落を許可しないという条件が設定できる。
- データの重複を許可しないという条件を表に1つ定義することが推奨されている。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 3-13 ~ 3-16

■問題7【Oracleアーキテクチャ】

Oracle データベースを構成するファイルについて、正しいものを1つ選んでください。

- データが変更される度にオンライン REDO ログ・ファイルには、データが書き込まれる。
- 共有プールには、一度 SELECT した表のデータを保存できる。
- オンライン REDO ログ・ファイルは、データベースで行われたデータ変更の履歴を格納している。
- データファイルは、一部の変更履歴を格納している。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 4-3、4-7

■問題8【Oracleアーキテクチャ】

Oracle インスタンスの構成について正しいものを1つ選んでください。

- システム・グローバル領域 (SGA) とサーバープロセスで構成される。
- PGAと呼ばれる専用のメモリーとサーバープロセスで構成される。
- データベース・バッファ・キャッシュ、REDOログ・バッファ・共有プールで構成される。
- システム・グローバル領域 (SGA) とプロセスとメモリー領域で構成される。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 3-3

■問題9【バックアップ・リカバリ概要】

障害に備えた仕組みとして正しいものを2つ選んでください。

- オンライン REDO・ログファイルは REDO ログが書き込まれるとその分ファイルのサイズも増加する。
- データベースの再起動さえすれば、Oracle が自動的に回復作業をしてくれる障害が存在する。
- ファイル障害の復旧には、バックアップ・ファイルが必要である。
- データベースが破損してしまったときの対策システムとして Real Application Clusters (RAC) がある。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 5章

■問題 10 【Oracleの標準ツール】

Oracleの標準ツールとその役割について正しいものを2つ選んでください。

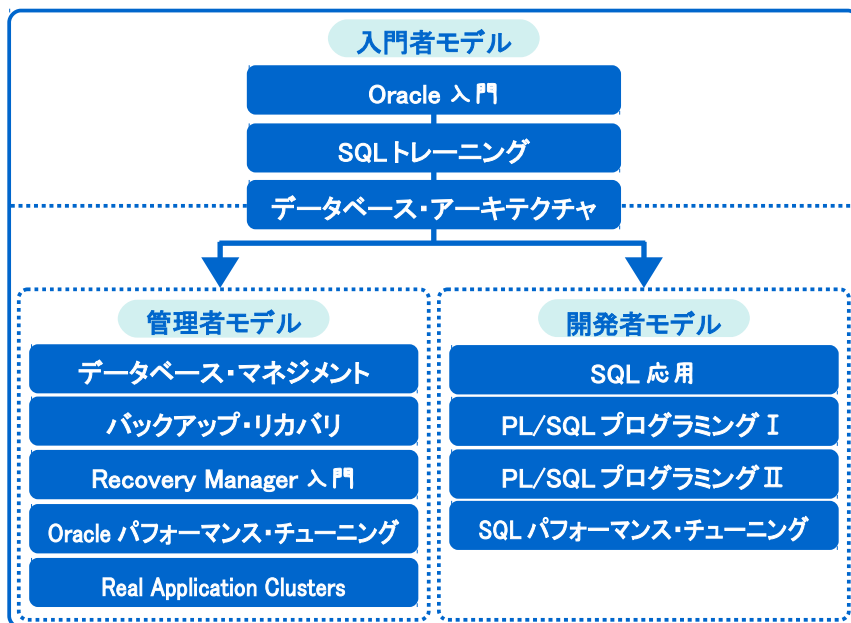
- SQL*Plus : SQLのみが実行できるコマンドラインのツール。
- SQL*Loader : 外部ファイルのデータをデータベースの表にロードするためのツール。
- Data Pump Export/Import : データベースのバックアップやデータ移行・再編成に使うツール。
- Database Configuration Assistant : データベースの起動、停止などの管理やりカバリ操作がGUIで行える統合運用管理ツール。
- 分からない。

<テキスト掲載箇所> 6-1 ~ 6-2、6-9 ~ 6-16

Information

アシスト Oracle 研修内容の詳細については下記ページをご覧ください。
<http://www.ashisuto.co.jp/ojt/course/oracle/>

アシストOracle研修受講モデル



<入門者モデル>

Oracleの基本構造やSQLの基礎構文など、Oracleの全体像を理解できます。新入社員や異動された方など、これからOracleに携わる方にぴったりのモデルです。

<管理者モデル>

管理者として必要な運用管理タスクの理解やバックアップリカバリ、システムチューニングの技術を習得できます。

<開発者モデル>

Oracleを使用した開発に必要なPL/SQLの習得、索引やSQL記述方法などによるSQLチューニング技術を習得できます。

※研修内容についてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

アシスト教育部：【TEL】0120-874-337 / 【FAX】0120-874-437/ 【E-Mail】edusup_ora@ashisuto.co.jp